

二十四回蒼天句会 今月の一句

令和六年十月十日 兼題..爽やか、又は自由

風さやか少女らの手話にぎやかに

公子

秋爽や指の先まで深呼吸

婦紗子

秋晴れや紅白帽子位置につき

賢一

爽籟や老舗旅館の掛け時計

繁一

上総路の低き山並月さやか

孝志

小さき家小さき幸せ爽やかに

ムツミ

秋気澄む袱紗さばきの指の先

信江

爽やかやグラス拭き上ぐ昼下り

静江

爽やかや合掌解く法隆寺

鎮夫

曼殊沙華見頃近づく仏界

隆彦

爽涼の粹集めしやこの滴

隆男

初ひ母の胸はふくよか豊の秋

重子

三本の案山子が守る古代米

紹子

朗朗と響く独唱秋うらら

久恵